

第2回と第3回の成果を踏まえ、第4回は河西学区を活性化する取り組みを考えます

第2回 学区の特徴とたからもの

特徴

① 野洲川がもたらす
自然の恩恵

② 人のつながりが強い、
元気なまち

③ 河西学区ならではの
ユニークな「たからもの」

④ 歴史のある伝統・文化

たからもの

- 豊かな自然
 - ・ 桜並木・淡墨桜、ホタル、江西川、野洲川、妙蓮、眺望、キジ、アライグマ、たぬき、ハリオ、菜の花、あじさい、コスモス など
- 多様な公園・緑地
 - ・ 鳩の森公園、荒見公園、コスモス園
- 祭り・行事
 - ・ 運動会、夏祭り、旭化成の駅伝・花火、もちつき、ホタル祭り、ドラム缶の左義長 など
- 健康やスポーツ
 - ・ ウォーキングコース、ラジオ体操、川田グランドゴルフ
- 交流の取り組み
 - ・ 川中自治会、秋の集い、住民のつどい
- 地域の特色のある農業
 - ・ 荒見ファーム、川中農園、そばづくり笠原しょうが、わさび、家庭菜園 など
- 水にまつわる歴史と文化
 - ・ 川戸、水(丸坪の池)、旧堤防、湧水
- 地元が生んだ人的資源
 - ・ プロ歌手、お笑いタレント、子どもの笑い声
- 整備された道・橋
 - ・ 整備された歩道、道路の起点、川田橋
- 歴史遺産
 - ・ 播磨田遺跡、川中遺跡、阿比留遺跡、川田合村跡
- 神社仏閣
 - ・ 八田神社、蜷江神社、皇小津神社、若宮神社、十王堂、十王堂の文化財、万願寺、八大神社
- 伝統行事
 - ・ 湧のぼり、もちつき神事
- 歴史的建造物・史跡等
 - ・ 杉本家屋敷、守山最初の小学校、水止め石、一本松

第4回 河西学区活性化の取組

「たからもの」と「まちづくりの方向」を関連づけて、どんなことができるか、何をしたら学区が元気になるか、考えてみてください！
これは例です、参考にどうぞ。

【活用するたからもの】
祭り、行事 自治会など

【活性化の取り組み】
学区全体で工夫し、より多くの人々が参画できる仕組みをつくる

- ・ イベントカレンダーの作成
- ・ 自治会や地域団体等の連携 など

【活用するたからもの】
近江妙蓮

【活性化の取り組み】
蓮で有名なまちと提携し、交流を活性化させる

- ・ 提携都市の蓮めぐり交流ツアー
- ・ 蓮にまつわる特産品の開発 など

第3回会議ではすでにこんなアイデアが出ています。これらをもっと具体的にすることも考えましょう！

＜第3回会議で出して頂いた取り組み＞

- ・ 自治会活動や地域行事の負担軽減、改革
- ・ 守山は住みよいところという地域への誇りを醸成
- ・ 防災・緊急対策として里道の4m道路整備
- ・ 遺跡のまちとして遺跡をPR
- ・ 近江妙蓮、芦刈園の紫陽花、喜多の桜など花の連携
- ・ 魚釣りポイントとして、野州川等を活性化
- ・ 街中を桜に(川べりや遊休地に桜を植樹)
- ・ 高齢化を見据えた行事の計画
- ・ 近江妙蓮を活用したはす祭り
- ・ ホタルの生息地の自然環境保全
- など

第3回 学区の課題とまちづくりの方向

まちづくりの方向

- 高齢化等、地域の状況に即した地域活動の仕組みづくり
- 近江妙蓮や遺跡を活用した個性輝くまちづくり
- 自然の保全を念頭に置いた地域活性化の取り組み
- 誰もが健やかで安心・快適に暮らせるまちづくり

課題

- 人口増減の地域差・少子高齢化により、地域間でバランスが崩れている
 - ・ 高齢化地区と若年者地区、人口増加地区と減少地区に分かれている
 - ・ 子どもの減少・友達がいない
- 地域活動や行事の担い手・人材が不足
 - ・ 男性の参加率が低い
 - ・ 若い人の地域離れ・青年団の減少
 - ・ 地域団体間の連携がない
- 新旧住民・世代間の交流が希薄化
 - ・ 若年層の自治会活動への関心低下
 - ・ 公民館や行事への参加者が少ない
- 自治会への関心低下や高齢化等で活動に支障
 - ・ 新しい住民の自治会への参加が少ない
 - ・ 高齢化で自治会運営に支障
- マナーが悪い、生活ルールの遵守ができていない
 - ・ 小中学生の道徳マナーが悪い
 - ・ ごみ出しのルールの遵守、騒音対策等
- 世代や地域を越えて集まる場所・イベントが不足
 - ・ 若年層や外部者を対象とした行事がない
- 妙蓮や遺跡等の『たからもの』の活用・保全が不十分
 - ・ 妙蓮、芦刈園の紫陽花、喜多の桜、一本松史跡公園遺跡等の活用・PRが必要
 - ・ 『たからもの』の伝承が不十分
- 水資源・ホタル・桜などの自然保全が必要
 - ・ 川の水が流れない・汚れている
 - ・ ホタル、淡墨桜・古木の保全が必要
- 公園・道路整備や開発のバランスを考える等、生活環境の整備が必要
 - ・ 様々なニーズに対応した公園の整備
 - ・ 市街化区域と調整区域での開発バランスが悪い
 - ・ 道路整備が不十分
- 水害対策等の防災の取り組みが不十分
 - ・ 住宅開発等による治水問題、法竜川氾濫
 - ・ 災害時に要援護者の対策が課題
- 職場が少ない・商店がない・後継者不足等、地域の活力が低下している
 - ・ 若者の地元で職がない
 - ・ 農業の後継者不足

(注) 第2, 3回のワークショップ会議で記入されたものから抜粋